



# 広島同窓会会報

第 27 号

発行 広島工業大学同窓会  
 編集 広島工業大学同窓会編集委員会  
 731-51 広島市住居区三宅2丁目1-1  
 広島工業大学内広島工業大学同窓会  
 (電) 0829-21-3121 内線570



## ハードな僕とソフトな貴女

今年、新設の環境学部には296名が入学しました。その中、女子学生がなんと78名。一学部の学生の約1/3が女子学生だなんて、ひと昔前には想像もつかなかったこと。工学部の女子学生数とあわせると233名ものパワフルウーマンが広いキャンパスを闊歩しています。

写真は'93体育祭開会式の前庭から

## 同窓会を想う

広島工業大学同窓会  
副会長 道田憲治

会員ひとり、ひとりの  
より一層の理解と  
協力を心から願う。

同窓生の皆さんお元気で、御活躍されている事と、拝察致します。わが国の景気も、政府見解では、4月あるいは、5月で不況の底入れも見えて来たのではないかと、希望的観測をされている様ですが、広島県では6月に入っても、自動車業界を始め、消費者動向の

伸びが思わしくなく、まだまだ厳しい経済状況にあると思われます。

日本の大学も今年度より進学年齢人口が、減少し、私学にとっても、厳しい時代に入っていく中で、母校は皆さんもご存じの、環境学部が、開学され時代のニーズと将来に向けての魅力ある大学づくりがなされております。聞くところによりますと、今年度の環境学部には、定数230人中、80人以上もの女子学生が、入学されたとかこれからも、鶴学長始め諸先生職員方々の、教育、人材育成に対するあつい熱意が、注がれて行く事で、学生達の建学の精神が養われ、優秀な人材が社会に送り出され、母校の限りない発展が、続いて行くものと思われます。この事は、同窓生にとっても、計りしれない喜びであります。同窓会もより大学側との相互理解を深め、そして共存共栄して行く事が大切であると思ひます。

その為には、一人ひとりの会員の皆様、同窓会への御理解と御協力が必要

ればなりません。現在2万人を超える会員に對して、より一層の御理解と御協力を得る為には、どの様にしていけば良いか、又、行かなければならぬかを常に念頭におき活動して行きたいと思ひます。これまで築き上げられた伝統を守りながら、新しく変化する時代の波に順応し同窓会を皆様方の理想に少しでも近づける事が、会長を始めとする我々同窓会役員を務めであると思ひます。これからの母校の益々の発展と会員皆様方のご健勝を心から祈念致します。



# 広島工業大学 28 総会 懇親会



平成5年度の広島工業大学同窓会総会が、平成5年4月24日(土)午後4時～午後5時まで、懇親会が午後5時30分～午後7時30分まで広島県民生化センターで開催されました。また本報は総会の開催に先立ち全国の地域支店、県支部、職場支部から支部長に出張して各支部における活動状況の報告や(昭和42年電子工学科卒)が再びされ、幹事長には、手越義昭氏(昭和49年建築学科卒)が選ば

れました。懇親会は、金原一郎氏(昭和45年建築学科卒)の幹事長会で、楽しくごやかにたいり行われ、東芝EM1歌手稲田有梨さんが花を語りました。なお、同窓生の内宮業をなされておられる方々に対して、第28回同窓会・懇親会の歌手出演料および活動資金に対する寄付をお願いいたしましたところ、たいへん多くの方からご寄付頂きました。ここに感謝の意を表します。次回の総会には必ず一声二声かけて多くの同窓生に参加したいと思っています。

平成5年度の活動方針につきましては、同窓会名簿に関するメンテナンス活動を充実させることを柱として同窓会(支部活動)の活性化を進めるとともに同窓会創立30周年記念行事に向けて活動して行く考えであります。以下に定例活動方針を列記しております。1) 会誌・会報の発行、2) 同窓会名簿の発行、3) 同窓会名簿に関するメンテナンス、4) 支部活動の活性化、支部との連携の強化、5) 在学生援助、6) 同窓会業務の大学の連携、7) 財産管理、その他、今後の同窓会のあり方についての検討。

## 第28回 定期総会の報告

広島工業大学同窓会 幹事長 手越義昭

永見善吾会長の同窓会活性化への熱のこもった挨拶に始まり出席者の中から議長を推選して議長の議事進行で総会はスムーズに進行しました。湯沢活動幹事の平成4年度の活動幹事の主なものについての報告がありました。役員改選では、永見善吾会長(昭和42年電子工学科卒)が再びされ、幹事長には、手越義昭氏(昭和49年建築学科卒)が選ば



熊本市支部 発会式に 参加して

広島工業大学土木工学科卒 伊藤秀敏 土木工学科卒 (昭和45年度)

熊本市支部の発足日が平成5年6月12日に、熊本市内の熊本交通センターにて盛大に行われた。同支部発足に際しては、熊本市の有志の方より、「熊本市支部を発足したい」との意向を同窓会本部に申し込まれた。いわゆる自然発生の誕生した支部である。したがって、支部発足に努力までの業務は全て、有志の方々に委ねられたわけである。

さて、発足に際しては、支部長の越勢(昭和46年土木卒)としての意向を示された。同支部を代表されて、中村工学部長が、広島工業大学の歴史的経緯、近況報告ならびに将来展望について、熱心のこもった挨拶をされた。熊本市人気賞を述べられた越勢は、ご自身が着任した当時(26年前)の状況について話され、当時を思い出された同窓生の方々に、拍手喝采をあげて了。手越同窓会幹事長は、支部の現状報告と同窓会の将来展望について話され、熊本市支部の協力を要請された。

懇親会では、談笑のみ、参加者全員の自己紹介がなされた。熊本市は大国と云われるように情熱的で有為な方が多く、10分以上も話される方もいた。その中の共通

している事は、「卒業当時は、仕事をこなすことで精一杯であったが、10年以上つと母校に入学させたい」といった母校愛に満ちたコメントをいただいた。さらに「自然を大切にしたい、心豊かな生活を送らねばならぬ」と述べられたことが印象に残った。

現在熊本市に在籍されている同窓生の皆様は57名であり、この内21名の方が同支部発足に出席していただきたかとうございました。

## 平成6年度の入試要項

- 公募推薦入試
  - 試験日 平成5年11月28日(日)
  - 一入試入試要項
- 試験日 平成5年2月9日(土)
  - 工学部 工学部 工学部
  - 工学部 工学部 工学部
  - 工学部 工学部 工学部
  - 工学部 工学部 工学部
  - 工学部 工学部 工学部
- 今年入試の特徴
  - 職業科目(工学部)と同等の試験科目を実施します。
  - 大学入試センター試験を利用した試験科目(工学部)に新たに導入します。
  - 公募推薦の応募資格を在学年の段階のみから1年未満に引き上げます。
  - 試験日試験科目、空席、募集に動員し、本学をめぐって試験を実施します。
  - 試験会場の近隣の交通機関の混雑を回避する観点で試験開始時刻を繰り上げて実施します。
  - 入試要項を印刷しお申し込み下さい。
  - 7月9日(土)10時～11時30分(日)10時～11時30分

## 平成5年度 同窓会役員

会長	永見 善吾	電子	幹事	近宮 貴	経営
副会長	湯田 憲治	経営		広東 隆	
	藤田 好弘	機械		加藤 啓	
幹事長	手越 義昭	建築		桜井 元彦	
副幹事長	村中 昭典	土木		藤村 光雄	建築
	湯沢 照	電気	評議員	福原 誠二	電子
会 計	今池 龍二	電子		森本 昭紀	
	松田 章	経営		大森 忠昭	
	小池 利明	機械		森田 善雄	
会計監査	川柳 敬志	電子		大森 忠昭	
	高瀬 明	機械		山吹 康博	
書記	内本 康雄	建築		森本 康博	電気
	大林 真	土木		可知 英博	
幹事	砂田 電子			藤村 洋	
	村田 弘志			松原 昌弘	
	玉野 和保			木村 一彦	機械
	藤田 孝昭			田村 謙二	
	古川 博仁			坂本 幸雄	
	藤上 憲治	電気		谷口 義夫	
	原田 義治			時 勝義	
	沖根 光夫	電子		藤川 正博	
	青山剛之丞			松村 拓哉	
	松江 孝博	機械		立花 千秋	
	小西 正明			西本 博夫	
	中西 昭次			藤生 達夫	土木
	高島高太郎			坂谷 昇一	
	山田 和信			川下 清夫	
	山下 一彦			中塚 隆夫	建築
	永倉 隆治			金原 一郎	
	鈴木 文寛	電子		下田 卓夫	
	松岡 泰弘	機械		森京 正	
	伊藤 秀敏	土木		時 亨司	経営
	菅 謙三			青木 賢一	
	菅原 貞幸	建築		吉崎 俊	
	西田 弘展	経営		藤原 昌明	
	長野 清夫			岡本 徳紀	
	中村 孝	電気		高村 直樹	
	中塚 佳二	経営			

## 平成4年度同窓会会計報告

《収支決算》	平成4年度総収入	21,622,823	
	平成4年度総支出	18,428,116	
	残高	3,194,707	
《収入の部》	平成3年度繰越金	2,356,480	
	入会金	3,045,000	
	終身会費	15,516,000	
	総会会費	348,000	
	雑収入	135,010	
	預金利息	222,333	
	合計	21,622,823	
《支出の部》	印刷製本費	4,296,407	
	砂田賞	1,204,583	
	支部費	170,000	
	助成費	1,367,270	
	通信費	4,339,182	
	消耗品費	1,859,824	
	旅費交通費	761,570	
	役員手当	32,000	
	委託費	1,107,335	
	保守費	0	
	福利費	7,235	
	慶弔費	50,900	
	雑支出	133,784	
	雑当金	0	
	備出金	15,656	
	同窓会基金繰入金	2,500,000	
	奨学金基金繰入金	630,000	
	助成費剰余金	562,730	
	合計	18,428,116	
《基金の部》	平成3年度繰越金	105,525,495	
	本会計より繰入	2,500,000	
	雑支出	8,411,606	
	合計	116,613,889	
《奨学金会計報告》	平成4年度総収入	15,865,198	
	平成4年度総支出	15,235,198	
	残高	630,000	
《収入の部》	基金	13,234,440	
	奨学金基金繰入金	630,000	
	助成費剰余金	562,730	
	預金利息	1,033,287	
	寄付金	404,735	
	合計	15,865,198	
《支出の部》	奨学金	630,000	
	合計	630,000	
平成5年度予算	《収入の部》	平成4年度繰越金	3,194,707
	入会金	3,768,000	
	終身会費	14,850,000	
	雑収入	500,000	
	預金利息	100,000	
	雑収入	110,000	
	合計	22,522,707	
	《支出の部》	印刷製本費	4,570,000
	砂田賞	1,994,000	
	支部費	340,000	
	助成費	1,400,000	
	通信費	5,170,000	
	消耗品費	1,255,000	
	旅費交通費	1,910,000	
	役員手当	52,000	
	委託費	1,384,000	
	保守費	0	
	福利費	100,000	
	慶弔費	150,000	
	雑支出	160,000	
	雑支出	0	
	同窓会基金繰入金	1,000,000	
	奨学金基金繰入金	900,000	
	30周年記念植立金	1,000,000	
	予備費	1,127,707	
	合計	22,522,707	



## 広島は今、そして私は

財団法人広島アジア競技大会組織委員会  
施設部施設課 森田洋生  
(建築学科、昭和47年生)

“広島は今、来年(1994年)10月2日(日)から10月16日(日)までの15日間、広島市を中心とする県内各地(自転車競技団体ロードは山口県)で開催される“第12回アジア競技大会広島1994”の開催準備で、ハード面及びソフト面の両面にわたり、街全体が活気あふれた状態となっている。ここ数年、日本はバブルがはじけ、不景気風が吹きあっていますが、“広島”は他の地域に比べて少し事情が違っています。というのは、大会に使用する各種競技場、新交通システム、ホテル等、関連公共事業等の整備が「アジア競技大会に間に合わせなければならない」という大義名分のもと、今、それらの事業が、最後の正念場を迎えて推進されているからです。アジア競技大会は、ご存じの方も多々と思いますが、第1回が1951年ニューデリー(インド)で開催されて以来、一応4年毎に、オリンピック大会の中間年に開催されています。日本では、1958年東京で第3回大会が開催されており、広島大会は、日本での2回目の開催となります。また、広島大会は、第12回大会となる訳ですが、今回は初めて、首都以外の都市で開催される大

会となります。“Asian Harmony～わかちあう感動、結びあう友情～”というスローガンのもと、アジアの42の国・地域から、34競技・337種目・約7.300人の選手・役員が参加が予定されており、大会期間中は、延べ人数約80万人の国内外からの観客が、43の競技会場で繰り上げられる熱戦を観戦するだろうと言われています。広島大会は、参加国・地域数、参加人数、実施競技・種目数において、日本では、今世紀最大で最後の、国際総合競技大会となります。ちなみに、広島大会の運営費は、約289億円となっていますが、大会開催による経済波及効果は、3兆1680億円から3兆9600億円と試算されています。

さて、私は、1972年(昭和47年)に建築学科を卒業しました。(3年後に、建築学科が消滅することを聞くと寂しくもなりません。)私が卒業した時期は、第1次オイルショックが日本本土を襲う前の大変景気の良い頃でしたが、私は、故に、公務員になることだけを考え、卒業と同時に、運輸省(航空局)へ入省しました。その後、家庭の事情で帰郷し、広島市役所に入所しました。入所してから私は、都市計画、建築確認審査等の業



務に携わっていましたが、1981年からアジア競技大会の広島招致(1984年大会開催決定)の業務に携わり、メイン会場(今春開園した広島広域公園)整備候補地の選定、大会構思の取りまとめ(この業務は委託業務として外部発注としたが、委託先の担当者は、テーマは違っていたが、お互い卒論の提出期限を気にしながら、一緒に建築学科の研究室で執筆していた同級生のK君であった。)

広島市東区スポーツセンター・広島市総合屋内プールの設計・施工監督等の業務を行いました。そして、現在は、広島市から出向し、あと400余日にせまった。“第12回アジア競技大会広島1994”の開催準備を直接行う事務局である財団法人広島アジア競技大会組織委員会(1987年発足)施設部施設課に籍を置き、主に、大会で使用する各種競技会場、選手村等の施設整備にかかわる業務を行っています。広島大会の開催意義は、明日

のアジアを担う若人が、原爆被災という人類史上初の惨禍を体験し、都市像として、「国際平和文化都市」を掲げ、世界に向かって恒久平和の現実を訴え続けている広島市に集い、スポーツを通じて交流を深め、平和への関心を高めることは、アジアの友好親善に大きな役割を果たすとともに、世界の恒久平和の実現に貢献することになるということです。この考え方は、広島工業大学の開学以来一貫した学生に対する教育である“他人や他国を理解し、思いや心の豊かさを充分身につけて社会に貢献する人材の育成を心がける”につながるものがあると思っており、大会時には、その実践ができるものと私自身確信しております。なお、広島大会では、鶴記念体育館が“パドミントン”の、又、沼田校舎大馬場が“馬術”の競技会場となっており、大会開催時には、広島工業大学の名称と映像が国内はもとより、アジアを中心とした海外に報道されることでしょうか。

同窓生の皆様にも、是非、何らかの形で御参加いただき、“第12回アジア競技大会広島1994”の成功のために、力をお借し下さい。



広島工業大学  
大学院工学研究科

## 卒業生の皆さんにも門戸を開いています

本学は、平成元年度に大学院工学研究科修士課程(電子工学専攻・機械システム工学専攻・土木工学専攻)を開設いたしました。これからの21世紀における科学技術の国際化を考え、深い学識と高い研究能力を身につけ、国際性豊かな地域社会をはじめ、広く社会に貢献できる人材育成をめざしています。そのために、実社会で活躍されている社会の方々にも、大学院進学への門戸を広く開き、社会人特別選考制度を設けています。社会人特別選考は、大学を卒業し、同一企業等において2年以上正規職員として勤務の方

で、所属長から推薦された方が対象です。選考方法は、英語の学力筆記試験を行います。専門科目については、筆記試験に代えて業務内容報告書(出願の際提出していただきます)の内容も含めて口述試験を行います。卒業生の皆さんが、この制度を大いに利用されることを期待しております。また、職場の中に適当な方がいらっしゃれば、派遣方ご配慮の程お願い申し上げます。【問い合わせ先】広島工業大学 学部部入試課 Tel:0829-21-3121 内線254

